

アートラボ 2025 第Ⅲ期 西村陽平

長野県立美術館 本館 2 階の「アートラボ」は視覚以外の感覚も使った鑑賞が可能な「ラボラトリー（実験室）」となることを目指しています。

2025 年 10 月 11 日（土）－2026 年 1 月 12 日（月・祝）

長野県立美術館 本館 2 階 アートラボ



西村陽平《彫刻に耳を澄ます》 撮影：金井真一

アートラボ 2025 年度の第Ⅲ期展覧会では、美術作家・陶芸家の西村陽平を紹介します。

本展では粘土で作られた彫刻に抱きつき、耳をあてることで、彫刻内部から聞こえてくる音やほのかな熱などを感じ取ることができる作品《彫刻に耳を澄ます》を展示します。

本作品は 2021 年度のアートラボ展示でも紹介しましたが、前回の展示はコロナ禍のため作品に触れることができず、鑑賞方法に制約がありました。今回は抱きついて全身で作品を鑑賞いただけます。

そのほかにも、溶解温度の違いによって溶けてしまった石と形が残るカップとの対比が面白い作品《カップと石の関係－溶ける石》、《カップと石の関係－叫ぶ石》なども展示します。焼成によって変化した物質の触感や形にもご注目ください。

▶展示作品（予定）

《彫刻に耳を澄ます》2021 年
《カップと石の関係ー溶ける石》2021 年
《カップと石の関係ー叫ぶ石》2021 年
《缶コーヒー》2021 年
《缶ビール》2021 年
《ペットボトル1》2021 年
《ペットボトル2（タカラ本みりん）》2021 年



西村陽平《カップと石の関係ー溶ける石》（手前）

▶作家略歴

■西村陽平 NISHIMURA Yohei

1947 年京都府生まれ。美術作家、陶芸家。日本女子大学名誉教授。

1973 年東京教育大学（現在の筑波大学）卒業後、98 年まで千葉盲学校で美術教諭として勤務。
缶や金属、紙に土を塗り、それらを焼成させたシリーズなど、焼成のプロセスを通じて、素材の違いを際立たせる作品を発表。視覚や触覚・聴覚などの感覚をテーマにした自身の作品制作とともに障がいのある方々や様々な人々の造形活動にも関わり、ワークショップを多数開催している。

【開催概要】

会 期：2025 年 10 月 11 日（土）－
2026 年 1 月 12 日（月・祝）

会 場：長野県立美術館 本館 2 階 アートラボ

開館時間：9:00-17:00

観 覧 料：無料

休 館 日：毎週水曜日、年末年始（12/28-1/3）

主 催：長野県、長野県立美術館

※諸般の事情により、会期などに変更が生じる場合があります。



西村陽平《彫刻に耳を澄ます》

■報道関係のお問い合わせ

長野県立美術館 広報・マーケティング室 〒380-0801 長野市箱清水 1-4-4（善光寺東隣）

TEL：026-232-0052 FAX：026-232-0050 E-mail：nam-pr@naganobunka.or.jp